N Box ＋
N Box ＋ Custom

車いす仕様車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

目次

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

各部の名称

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

リヤシート装備車
電動ウインチユニット
シートバックカバー
ウインチベルト
フロアースペーサー
スペーサー
固定ベルト
ロックピン
ストラップ
リヤシート非装備車
電動ウインチユニット
ウインチベルト
ストッパーバー
固定ベルト
スロープロック解除ノブ

ドアの施錠と解錠

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組み合わせは、車両のタイプにより異なります。

エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用できます。

キーについているボタンで、すべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠の操作ができます。

≫キーの種類と機能

キーレスエントリー一体キーには、精密な電子部品が組み込まれています。
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

キーの電子部品が故障すると、リモート発信が作動しなくなることがあります。
キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ハンドルまわりのスイッチ操作

エンジンスイッチ✤

≫エンジンスイッチ✤

エンジンスイッチが 0 または I のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。
キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

セレクトレバーを P に入れないとキーを抜くことができません。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

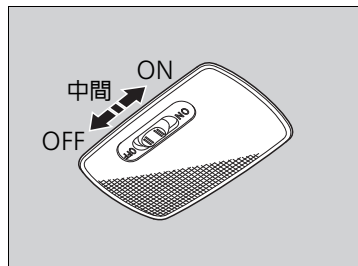
次ページに続く

■エンジンスイッチとパワーモードの比較

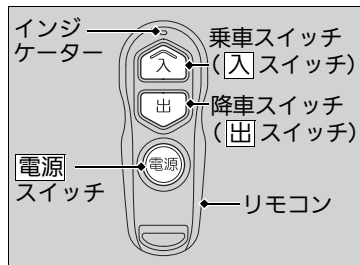
パワーモード	OFF モード	アクセサリーモード	ON モード インジケーター： 点灯　消灯	始動
ENGINE START/STOP スイッチ装備車	• インジケーター消灯 • ハンドルがロックされる位置	• インジケーター点灯または点滅 • エンジンを始動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置	• インジケーター 点灯：エンジン OFF 消灯：エンジン始動 • すべてのアクセサリーが使用可能	• インジケーター消灯 • エンジンの始動位置 始動したらON モードに自動的に戻ります。

エンジンスイッチ位置	0 ロック	I アクセサリー	II ON	III 始動
ENGINE START/STOP スイッチ非装備車	• キーを抜き差しする位置	• エンジンを始動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置	• 運転するときの位置 • すべてのアクセサリーが使用可能	• エンジンの始動位置 始動したら手を離すと、自動的に II に戻ります。

室内灯 / 室内装備品

■バックドアランプ

■ON、中間
バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯。

■OFF
バックドアの開閉に関係なく、消灯。

次ページに続く

■電動ウインチのリモコンの使いかた

■電源スイッチ

電源スイッチを押すとリモコンの電源が入ります。

▶インジケーターが赤く点灯します。

リモコンの電源スイッチを押してから約6秒以内に乗車スイッチまたは降車スイッチを押さないと、自動的にリモコンの電源が切れます。

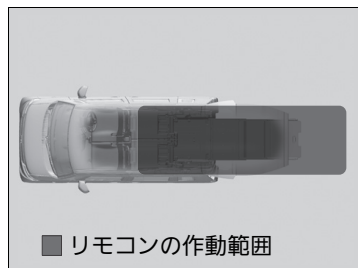
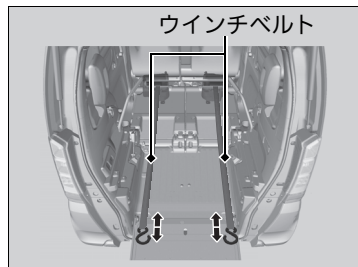
電動ウインチのリモコンの使いかた

リモコンは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 分解しない
- 改造しない
- リモコンに印字されている技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- リモコンを落としたり、重いものをのせない
- リモコンに液体をかけない
- 分解をしない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

■乗車スイッチ(入 スイッチ)

乗車スイッチを押している間、電動ウインチが作動し、ウインチベルトが巻き取られます。

▶インジケーターが緑に点滅します。

■降車スイッチ(出 スイッチ)

降車スイッチを押している間、電動ウインチが作動し、ウインチベルトが引き出されます。

▶インジケーターが緑に点滅します。

乗車スイッチや降車スイッチを押している間は電動ウインチが作動します。停止したい場合は乗車スイッチや降車スイッチから指を離してください。

電動ウインチのリモコンの使いかた

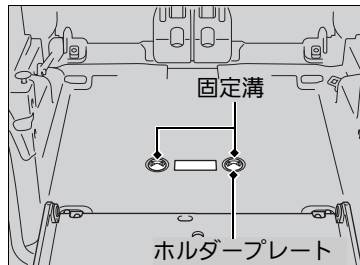
操作中にリモコンのスイッチから指を離すと「ピッピッ」と音がします。

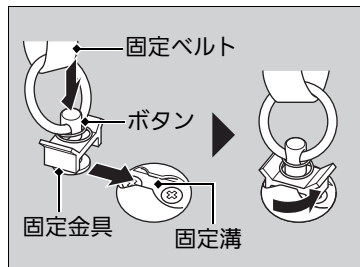
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

電源スイッチを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

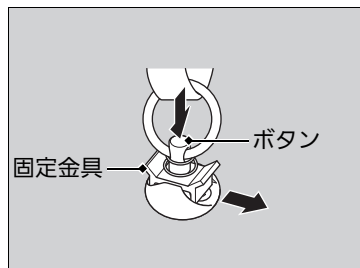
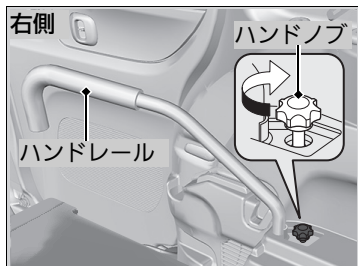
電動ウインチリモコンの電池交換 P.37

リモコンは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。また、周囲の電波状態により 出 または 入 スイッチを押しても電動ウインチが作動しない場合があります。
そのときはリモコンの電源スイッチを押し直した後、再度 出 または 入 スイッチを押して動かしてください。

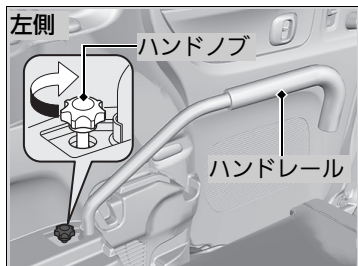
次ページに続く

■固定ベルトの取り付けかた

1. 固定金具を持ち、ボタンを押しながら固定溝にスライドさせる。
2. 固定金具を「カチッ」と音がするまで回し、ホルダープレートに確実に固定されていることを確認する。

■取り外しかた

固定金具を持ち、ボタンを押しながらスライドさせて固定溝から取り外す。

▶車いすを乗せないときは、固定ベルトをトランク右側のポケット等に収納してください。

■ハンドレールの取り付けかた

1. ハンドレールを取り付け穴に差し込む。
2. ハンドノブで確実に固定する。

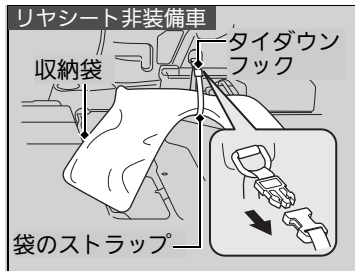
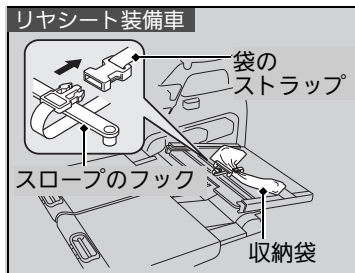
■取り外しかた

取り外す場合は、逆の手順で取り外してください。

≫ハンドレールの取り付けかた

リヤシート装備車
ハンドレールを取り付けた状態では、リヤシートに乗車することはできません。

≫取り外しかた

ハンドレールを取り外したときは、ハンドノブを元の取り付け位置に戻してください。

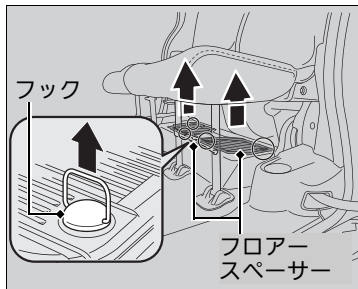
次ページに続く

■収納のしかた

1. ハンドレールを収納袋に入れる。

2. イラストの位置に収納する。

▶動かないように袋のストラップで固定してください。

リヤシート装備車

フロアースペーサーの取り外しかた

フックを取り外し、フロアースペーサーを取り外す。

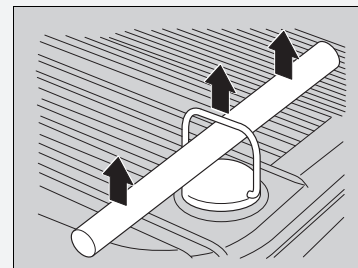
■取り付けかた

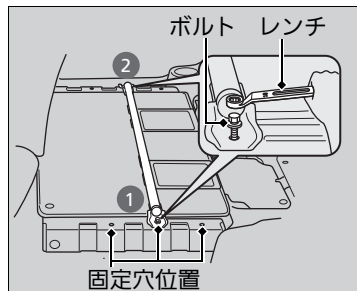
取り付ける場合は、逆の手順で取り付けてください。

▶フックは確実に差し込んでください。

≫フロアースペーサーの取り外しかた

フックが外しにくいときは、硬い棒のようなもので引張ると抜けやすくなります。

次ページに続く

リヤシート非装備車

■ストッパーバーの位置変更

1. レンチで左右のボルトを外す。

工具の種類 P.41

2. ストッパーバーの位置を変更する。

3. 左図の番号順にレンチでボルトを締め付ける。

▶ボルトは確実に固定してください。

締め付けトルク： 18.63 ～ 24.52 N・m
（1.9 ～ 2.5 kgf・m）

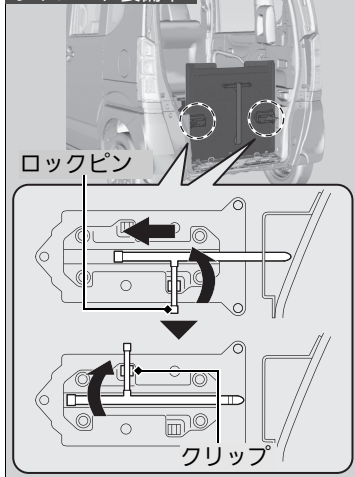
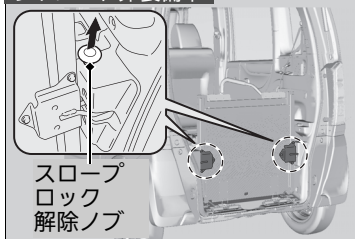
ストッパーバーの位置変更

作業が難しい場合には、Honda 販売店にご相談ください。

使用したレンチは工具ボックスまたはグローブボックスに収納ください。

▶固定穴位置を一番後ろに変更すると、工具ボックスを開けることができません。

スロープの扱いかた

直立位置に格納されたスロープを降ろす

1. バックドアを開ける。
   N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書

リヤシート装備車

2. スロープを手で押さえながら、左右のロックピンを解除する。
   ▶ロックピンをクリップに確実に固定してください。

リヤシート非装備車

2. スロープを手で押さえながら、左右のスロープロック解除ノブを引いて、ロックを解除する。

次ページに続く

スロープの扱いかた

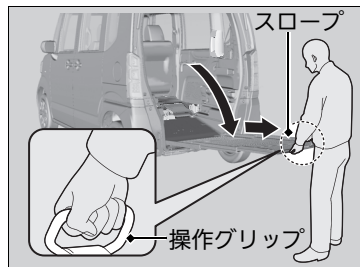
⚠注意

スロープを操作するときは、以下のことに注意する。

- 傾斜のない平らな所で行う
- 手などをはさまないように十分注意する
- スロープは最後まで引き出し、完全に接地した状態で使用する
- スロープを引き出した状態で車を走行しない
- 降雨時または積雪時はスロープが滑りやすくなるので注意する

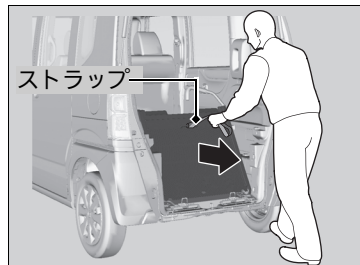
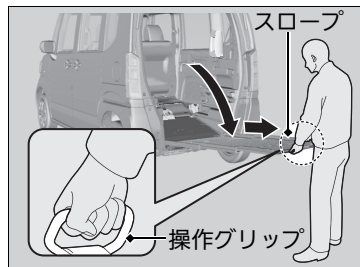
アドバイス

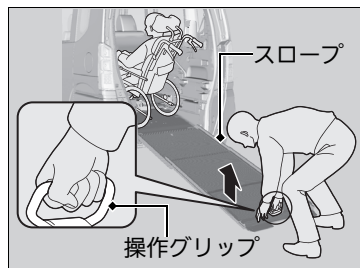
スロープの上では１ヵ所に重さが集中しないようにする。
傷や破損の原因となります。

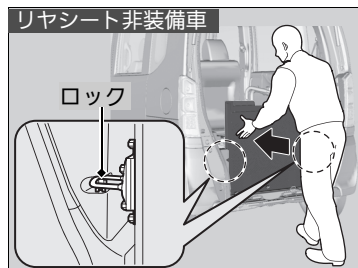
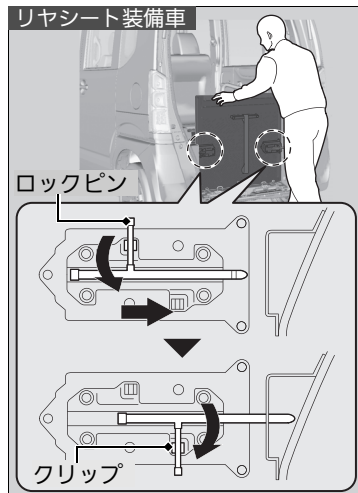
スロープの耐荷重を超えないようにしてください。
スロープの耐荷重(200kg：車いすを含む)を超えないようにしてください。スロープを損傷するおそれがあります。

共通操作

3. 操作グリップを持って手前に倒し、スライド式のスロープを引き出し地面に降ろす。
   ▶スロープが地面に接地していることを確認してください。

リヤシート装備車

■室内側に格納されたスロープを降ろす

1. バックドアを開ける。
   ➡ N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書
2. ストラップでスロープを引き上げ、倒れないように支えながら操作グリップに持ち替える。

3. 操作グリップを持って手前に倒し、スライド式のスロープを引き出し地面に降ろす。
▶スロープが地面に接地していることを確認してください。

■直立位置にスロープを格納する

1. 操作グリップを持って、スロープを持ち上げ、スライドさせて起こす。

次ページに続く

リヤシート装備車

2. スロープを手で押さえながら、左右のロックピンをかけて固定する。
▶ロックピンをクリップに確実に固定してください。

リヤシート非装備車

2. スロープを「カチッ」と音がするまで押して左右のロックを確実にかける。

»直立位置にスロープを格納する

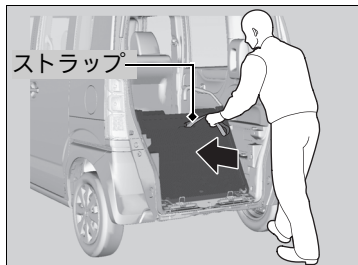
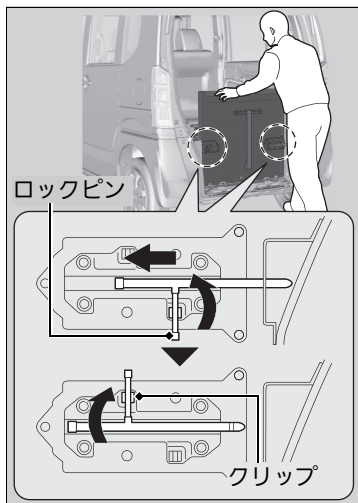
リヤシート装備車

アドバイス

クリップにロックピンが固定されていない状態でバックドアを閉めるとロックピンが当たりバックドアの損傷の原因になります。

リヤシート装備車

■室内側にスロープを格納する

スロープを室内側に倒して格納することが可能です。

1. 固定ベルトを取り外す。

   固定ベルトの取り付けかた P.10

   ▶フロアー内は、荷物が一切無い状態にしてください。

2. スロープを手で押さえながら、左右のロックピンを解除する。

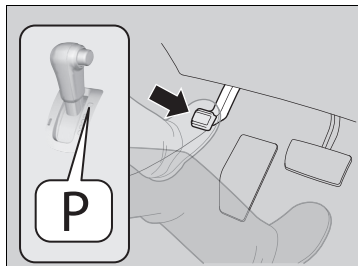
   ▶ロックピンをクリップに確実に固定してください。

3. ストラップを持ち、ゆっくりと室内側に倒す。

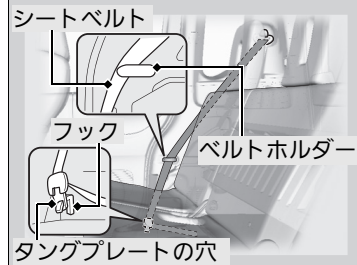
車いすの乗せかた、降ろしかた

車いすの乗降や固定操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。

■車いすの乗せかた

❶車いすを乗せる前に

1. パーキングブレーキがかけてあることと、セレクトレバーが P に入っていることを確認する。

リヤシート装備車

シートベルト
フック
ベルトホルダー
タングプレートの穴

リヤシート装備車

2. シートベルトをベルトホルダーに差し込み、タングプレートの穴をフックにかける。
3. リヤシートの背もたれを倒す。

➔ N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書

≫車いすの乗せかた、降ろしかた

⚠警告

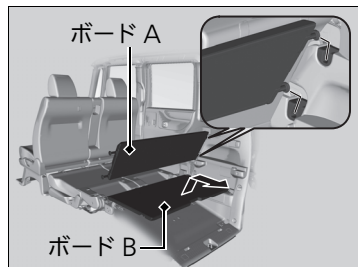
車いすは必ず車いす固定装置で固定する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

⚠注意

車いすの乗降や固定操作をするときは、必ずエンジンを止める。
不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。

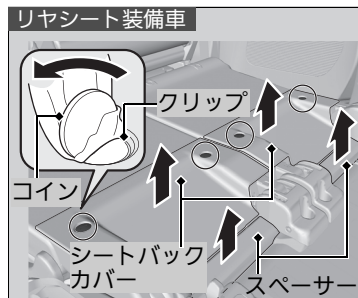
車いすの乗降や固定操作は介護する人が行う。
車いすに座っている人が自力でスロープを走行したり、固定操作を行うと、スロープから落ちたり、体の一部をはさんだりしてけがをするおそれがあります。

車いす乗車後にフロントシートを後方にスライドさせるときは後席の足元に当たらないように注意する。

各部の操作

4. ボードA、ボードBを取り外す。

共通操作

5. スロープを降ろす。

スロープの扱いかた P.15

リヤシート装備車

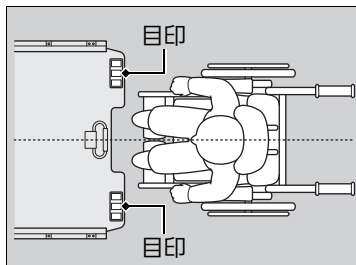
6. クリップを外し、シートバックカバーおよびスペーサーを取り外す。

▶クリップに傷が付かないように、コインに布などを巻いてクリップを取り外します。

7. ハンドレールを取り付ける。

ハンドレールの取り付けかた P.11

次ページに続く

❷車いすを乗せる

1. 車いすをスロープの目印を目安にスロープ中央に停車させ、車いすのブレーキをかける。

2. 主電源 スイッチを押してシステムを「ON」にする。(「ピッ」と音がして表示灯点灯)
   ▶ 主電源 スイッチを押してから約 1 分間、ベルトフリーなどのスイッチ操作が無い場合は自動的に主電源が切れます。(表示灯消灯)

≫車いすの乗せかた

⚠注意

ウインチベルトの操作は、電動ウインチ付近に人がいないことを確認して行う。

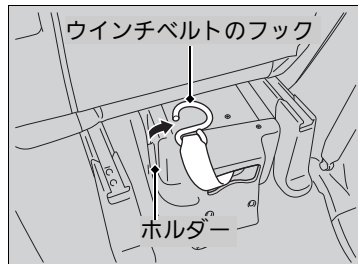
ウインチベルトを床面に放置しない。
乗員がつまずいてけがをしたり、ベルトを傷めるおそれがあります。所定の場所に収納してください。

車いすを車の所定の位置に乗せるときは、座っている人の頭や手足の位置を確認しながら行い、車両にぶつかったり、車いすとの間にはさまれないように十分注意する。

介護する人が車両に頭をぶつけないように十分注意する。

電動ウインチは車いすの乗降を補助するもので、自動で乗降する装置ではありません。

電動ウインチユニットに飲み物などをこぼさないでください。
ウインチが作動しなくなるおそれがあります。

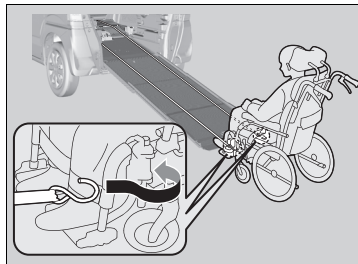
リヤシートに乗車する場合は、電動ウインチユニットを踏まないでください。
ウインチが作動しなくなるおそれがあります。

3. ベルトフリー スイッチを 1 秒間押す。
「ピーッ」と音がして表示灯が点灯します。
▶ベルトフリー作動中は「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続きます。

4. ウインチベルトのフックをホルダーから取り出す。
▶フックを取り出す際は、フロントシートを前にスライドさせてください。
N BOX +/N BOX + Custom取扱説明書

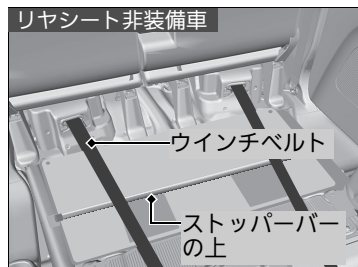
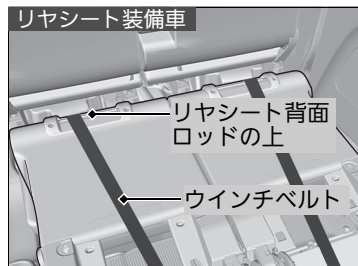
車いすの乗せかた

ベルトフリー作動中にウインチベルトが引き出せないとき、または表示灯が点滅したときは、ベルトフリー スイッチを押してもベルトを引き出すことができません。
ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき P.45

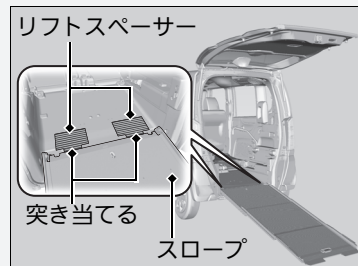
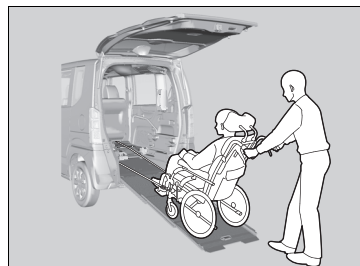
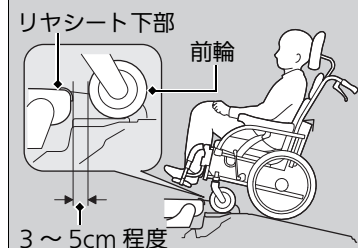
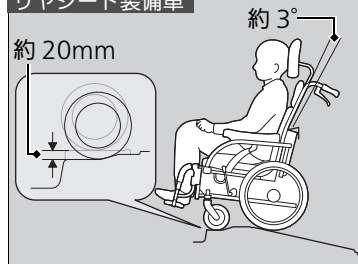
ベルトフリー スイッチの表示灯が点滅するのは以下の場合です。
- リモコンを使ってウインチベルトを収納したとき
- バッテリー、ヒューズを再接続したとき
- リモコンを使用せずに車いすを降ろしたとき

次ページに続く

5. ウインチベルトのフックを引き出して、ベルトがねじれないように車いすの前輪側のフレームやフックにかける。

▶車両の装備によってウインチベルトの通しかたが異なります。イラストを参考にして通してください。

ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき P.45

車いすの乗せかた

リヤシート装備車

気温が低いときなど、ウインチ性能が低下して乗車できない場合は、リフトスペーサーを使用してください。

リフトスペーサー使用後はスロープ格納前に取り外してください。

6. 車いすのブレーキを解除する。
7. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、乗車スイッチを押しながら介護する人が車いすをしっかりと支えて車内に乗せる。

➡ **電動ウインチのリモコンの使いかた** P.8

8. 車いすの前輪が車輪止め(ストッパーバー)付近(3 ～ 5cm 程度)にくるまでゆっくり前進する。

リヤシート装備車

▶リヤシート下部が車輪止めになります。

▶フロアースペーサーを取り外すと車いすの前輪を約 20mm 下げることができ、乗車姿勢を約 3° 変えることができます。
リヤシートの背もたれを倒す前に、フロアースペーサーを取り外してください。

➡ **フロアースペーサーの取り外しかた** P.13

次ページに続く

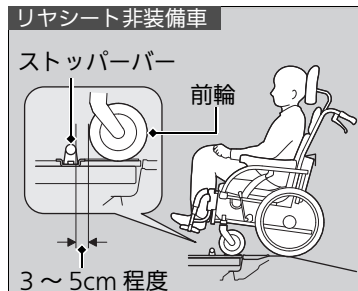
≫車いすの乗せかた

⚠注意

電動ウインチで車いす以外のものを引き上げない。

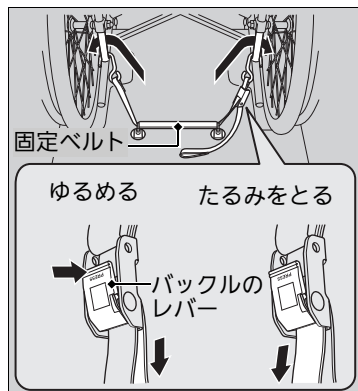
電動ウインチの故障やベルトの損傷につながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

電動ウインチ停止中に ベルト巻取速度 スイッチを押すことで車いすの乗車速度の変更ができます。
ボタンを押し込むとベルトを巻き取る速度が速くなります。
通常の速度に戻す場合は再度ボタンを押してください。

車輪止めを越えないようにゆっくり乗車させてください。電動ウインチに当たり、損傷するおそれがあります。

リヤシート非装備車

▶ストッパーバーの位置を変更することができます。

➔ **ストッパーバーの位置変更** P.14

❸車いすを固定する

1. 固定ベルトのバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめる。
2. 固定ベルトのフックを車いす後側(後部)のフレームやフックにかける。
3. 調整側のベルトを引っ張り、たるみをなくす。
   ▶フックを軽くゆさぶり、ベルトにたるみがないことを確認してください。
4. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、乗車スイッチを「ピーピーピー」と音がするまで押し続けた後、車いすをゆすり確実に固定されていることを確認する。
   ➔ **電動ウインチのリモコンの使いかた** P.8
5. 車いすのブレーキをかけ車輪をロックする。

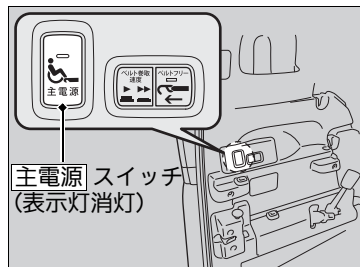
≫車いすの乗せかた

⚠警告

車いす本体のブレーキを必ずかける。
確実にかかっていないと、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

⚠注意

走行する前に、車いすが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

走行する前に、 主電源 **スイッチを押して「OFF」にする。**

❹ スロープを格納する

1. 直立位置にスロープを格納する。
   ➡ **スロープの扱いかた** P.15
2. バックドアを閉める。
   ➡ N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書

6. 主電源 スイッチを押してシステムを「OFF」にする。
7. シートベルトを着用する。
   ➡ **三点式シートベルトの着用** P.31

≫車いすの乗せかた

⚠ 警告

バックドアを閉めるときは、車いすに座っている人の頭にぶつけないように十分注意する。

⚠ 注意

車いす乗車スペース内には車いすに座った人以外の人を乗せない。

ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

次ページに続く

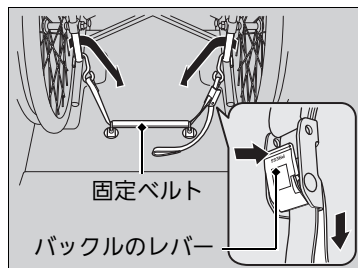
■車いすの降ろしかた

❶車いすを降ろす前に

1. パーキングブレーキがかけてあることと、セレクトレバーが P に入っていることを確認する。

❷スロープを降ろす

➡ スロープの扱いかた P.15

❸車いすの固定を解除する

1. シートベルトを外す。
➡ 三点式シートベルトの着用 P.31
2. 固定ベルトのバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめてフックを車いすから取り外す。

❹車いすを降ろす

1. 主電源 スイッチを押してシステムを「ON」にする。
2. 車いすの車輪のブレーキを解除する。
3. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、降車スイッチを押しながら介護する人がゆっくりと車いすを引き、車外へ降ろす。
   ▶降車スイッチを押してもベルトがゆるまない場合は、車いすを押しながら降車スイッチを押してください。
   ➡ 電動ウインチのリモコンの使いかた P.8

≫車いすの降ろしかた

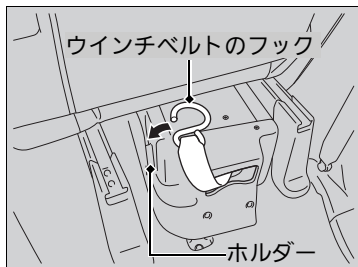
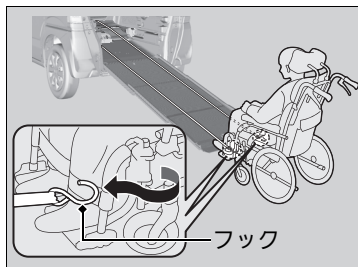
⚠注意

車いすを車から降ろすときは、座っている人の頭や手足の位置を確認しながら行い、車両にぶつかったり、車いすとの間にはさまれないように十分注意する。

介護する人が車両に頭をぶつけないように十分注意する。

介護する人はスロープの途中で車いすから手を離さない。

ウインチベルトを収納するときは、リモコンを使わずに収納してください。
リモコンを使うと、電動ウインチシステムが、車いすが乗っていると認識し、落下防止の状態となります。
そのため、 ベルトフリー スイッチを押してもベルトが引き出せなくなります。
➡ ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき P.45

4. 車いすがスロープから完全に降りていることを確認し、車いすのブレーキを両輪ともかける。
▶車いすの前輪がスロープ後端から 10cm 程度の距離で停めてください。

5. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、降車スイッチを押しながら、フックを持ち車いすから取り外す。
6. フックを持ち、リモコンを使わずに、ウインチベルトがねじれないようにゆっくりと巻き取らせます。

7. フックをホルダーに収納できる長さまでウインチベルトを巻き取らせて、ベルトを手で押さえながらホルダーに収納する。
▶フックを収納する際は、フロントシートを前にスライドさせてください。
➡ N BOX +/N BOX + Custom取扱説明書

≫車いすの降ろしかた

⚠注意

ウインチベルトの操作は、電動ウインチ付近に人がいないことを確認して行う。

ウインチベルトを床面に放置しない。
乗員がつまずいてけがをしたり、ベルトを傷めるおそれがあります。所定の場所に収納してください。

ウインチベルトのフックがホルダーに届かなくなった場合は、ベルトフリー スイッチを押すと収納しやすくなります。

次ページに続く

8. 主電源 スイッチを押してシステムを「OFF」にする。

❺スロープを格納する

1. スロープを格納する。

スロープの扱いかた P.15

2. バックドアを閉める。

N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書

三点式シートベルトの着用

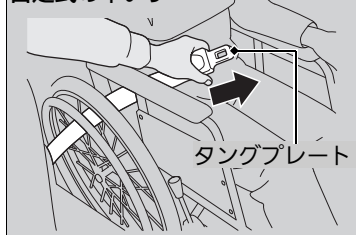
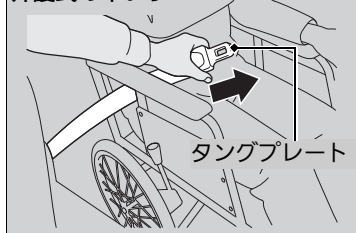
この車は、車いすに座っている人専用の ELR 付三点式シートベルトを装備しています。

■ELR 付三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
シートベルトの詳細は、N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書をご覧ください。

■腰部のベルト

1. タングプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、シート部側面の開口部を通す。

次ページに続く

»三点式シートベルトの着用

⚠警告

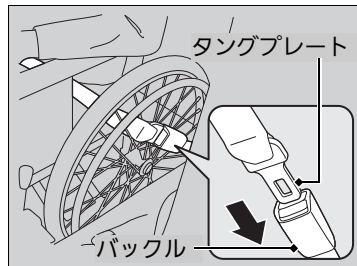
シートベルトは、以下のことに注意し、必ず正しく着用する。

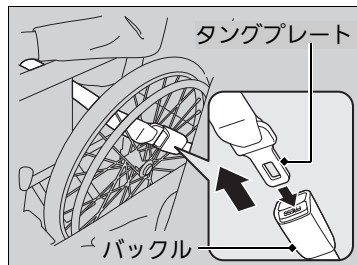
- 腰部のベルトと肩部のベルトを両方着用する
- 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用する
- 肩部のベルトはベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用する

正しく着用していないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

»腰部のベルト

車いすの種類によってシートベルトの通しかたが異なります。

イラストを参考にして、ベルトを通してください。

2. ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中に「カチリ」と音がするまで差し込む。

3. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように戻し方向へ引き、たるみがないように身体に密着させる。

■外すとき

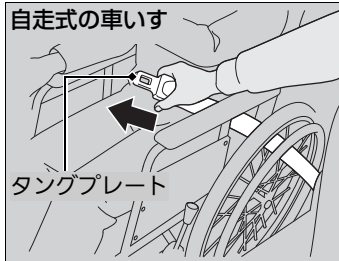
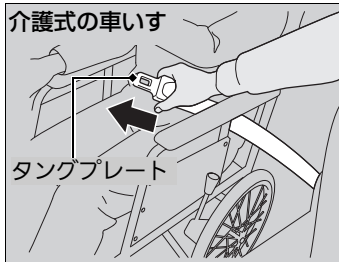
バックルの赤色の PRESS を押して外す。

≫腰部のベルト

ベルトが自動的に巻き取られますので、タングプレートに手を添えてゆっくり巻き取らせてください。

■肩部のベルト

1. タングプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、シート部側面の開口部を通す。

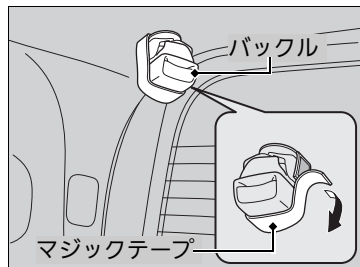
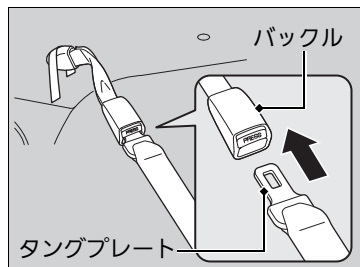
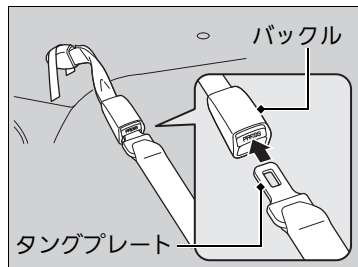
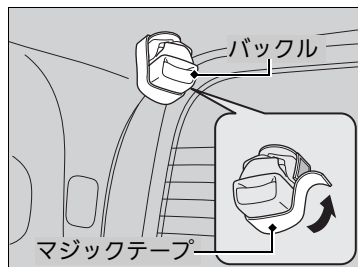
次ページに続く

≫肩部のベルト

⚠注意

肩部のベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

車いすの種類によってシートベルトの通しかたが異なります。

イラストを参考にして、ベルトを通してください。

2. マジックテープをはがし、バックルを取り外す。

3. ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中に「カチリ」と音がするまで差し込む。
4. ベルトにねじれ、たるみ、引っかかりがないかを確認する。

■外すとき

1. バックルの赤色の PRESS を押して外す。
2. バックルをマジックテープで固定する。

≫肩部のベルト

ベルトが自動的に巻き取られますので、タングプレートに手を添えてゆっくり巻き取らせてください。

車いす固定装置の点検

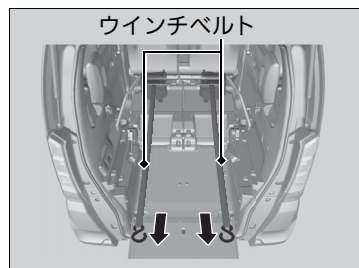
車いす固定装置の点検は、日常点検と定期点検があります。日常点検は使用状況に応じ、お客様の判断で適時行ってください。定期点検は、12 か月および24か月ごとに Honda 販売店に依頼してください。

■点検項目

■作動のスムーズさ、異音の点検

リモコンの電源スイッチを押した後、乗車スイッチや降車スイッチを押して装置がスムーズに作動するか、異音がないかを点検します。

電動ウインチのリモコンの使いかた P.8

■ウインチベルト、固定ベルトの点検

ウインチベルトはベルトを引き出して点検してください。

ウインチベルトと固定ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどがあるときは交換してください。

- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

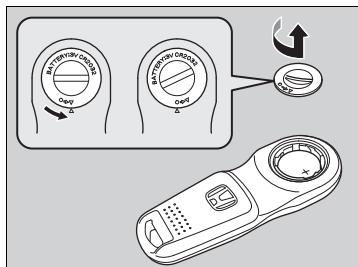
»車いす固定装置の点検

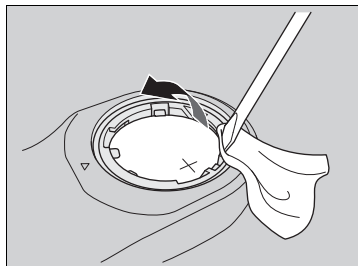
車いす固定装置の点検整備方式は、下表の通りです。

点検整備項目	点検時期		
	日常点検	12か月ごと	24か月ごと
作動のスムーズさ、異音	○	○	○
ウインチベルト、固定ベルト	○	○	○

部品の交換は、Honda 販売店に依頼してください。

■電動ウインチリモコンの電池交換

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

ボタン電池： CR2032

1. コインなどを使い、電池カバーを矢印の方向に回して外す。

2. 電池固定部の隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、電池を取り外す。
   ▶ショートさせないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
   ▶交換後、元のように電池カバーを取り付けます。

»電動ウインチリモコンの電池交換

⚠注意

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

電動ウインチリモコンをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

キーレスエントリー一体キー✤ の取り扱いと電池交換

■取り扱いについて

キーレスエントリー一体キーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信機を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

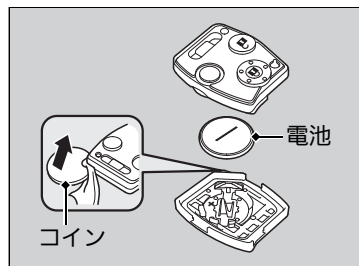
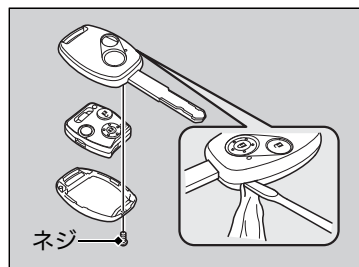
≫取り扱いについて

キーレスエントリー一体キーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■キーレスエントリー一体キー

ボタン電池　CR1616

1. 発信機下部のネジを外し、カバーを開く。
   ▶カバーに傷が付かないように、マイナスドライバーに布などを巻いてカバーを取り外します。

2. ケースを開ける。
   ▶ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
   ▶交換後、もとのように組み立て、ネジをしっかり締めてください。

»電池交換のしかた

⚠注意

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

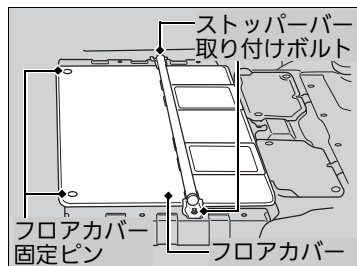
電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

次ページに続く

リヤシート非装備車

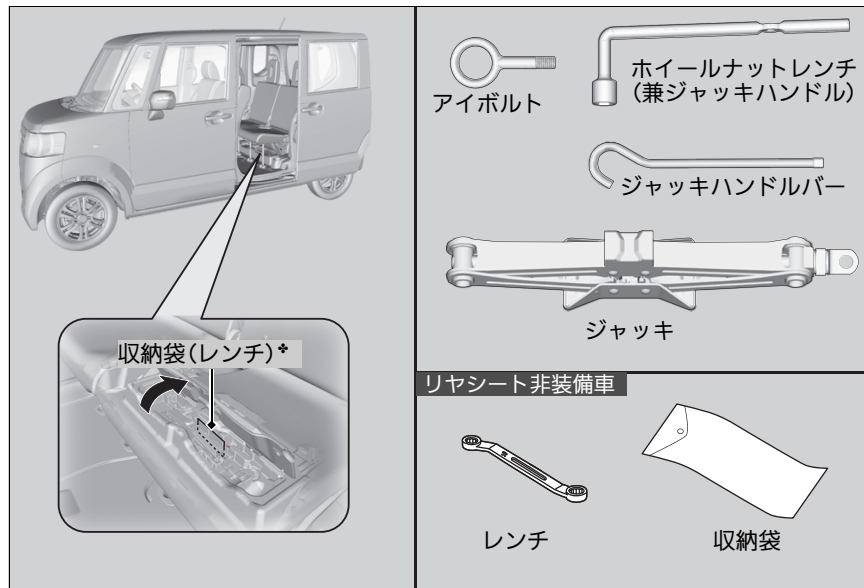
フロアカバーのお手入れ

1. ストッパーバーを外す。

ストッパーバーの位置変更 P.14

2. フロアカバーを外す。

≫フロアカバーのお手入れ

フロアカバーがずれるのを防止するため、フロアカバー固定ピンとストッパーバー取り付けボルトで確実に固定してください。

工具の種類

»工具の種類

工具類は工具ボックス内に収納されています。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ウインチベルトが作動しないとき

ウインチベルトが作動しないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、パワーモードを OFF モードまたはエンジンスイッチを 0 にして、ヒューズが切れていないか確認します。
ヒューズの設置場所 P.46

ヒューズが切れていないのにウインチベルトが作動しないときは、装置の故障が考えられますので、Honda 販売店で点検を受けてください。

■リモコンの操作途中でウインチが止まったとき

「ピーピーピー」と３回音がしてウインチが停止したときは、以下の手順に従って操作してください。

1. リモコンの電源スイッチを押し直す。
▶リモコンのインジケーターが赤く点灯していても押してください。

2. 再度 出 または 入 スイッチを押す。
▶ウインチが作動しない場合は、装置の故障が考えられます。
非常用ベルトを使って車いすを車外に降ろしてください。
乗降の途中で停止したとき P.43

ウインチベルトが作動しないとき

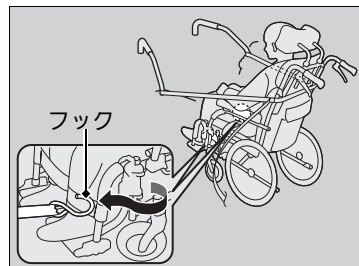
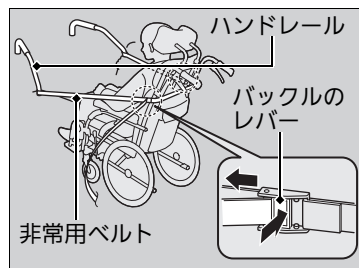
車のバッテリーを再接続したときやヒューズを交換したときに ベルトフリー スイッチが使えないことがあります。
ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき P.45

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換した後、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量の予備ヒューズと交換してください。

リモコンの電波状態、車両のバッテリーの状態やウインチに異常があると作動が停止することがあります。

乗降の途中で停止したとき

リモコンを紛失した場合や電池が切れた場合、乗降の途中で停止した場合は、非常用ベルトを使って車いすを車外へ降ろしてください。Honda 販売店にご連絡ください。

1. 車いすのブレーキをかける。
2. 主電源 スイッチを押して OFF にする。
3. 非常用ベルトをハンドレールに通し、車いすの背もたれ付近にかける。
4. 非常用ベルトの左右のバックルのレバーを押してベルトを調整し車いすを固定する。
5. 車いすのブレーキを解除する。
6. 左右交互にバックルのレバーを押し、ベルトを少しゆるめる。
7. 車いすを少し前に動かしてウインチベルトのフックを車いすから取り外し、車いすを支える。
   ▶ウインチベルトを取り外した後は、速やかに車いすを支えてください。

次ページに続く

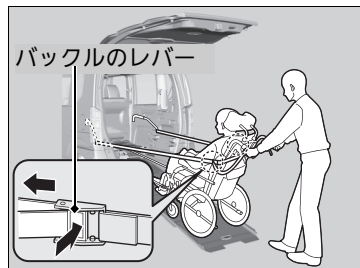
≫ウインチベルトが作動しないとき

⚠注意

装置が故障したときは、車いすでの乗車はしない。

車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

車いすのかたを降車させることができなくなった場合は、備え付けの非常用ベルトで車いすを固定後、ウインチのフックを外し、十分に注意しながら降車させる。

8. 車いすを支えながら、非常用ベルトの左右のバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめながら車いすを降ろす。
   ▶ベルトの開け閉めを繰り返し行い、ゆっくりと降車させてください。
9. 車いすがスロープから完全に降りていることを確認し、車いすのブレーキを両輪ともかける。
10. 非常用ベルトを取り外す。

■ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき

■ベルトフリースイッチの表示灯が点灯し、「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続いているとき

以下の手順にしたがって操作してください。

1. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、降車スイッチを押しながらウインチベルトを少し引き出す。
2. ベルトフリー スイッチを押してベルトを引き出す。

■ベルトフリースイッチの表示灯が点滅し、「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続かないとき

以下の手順にしたがって操作してください。

1. ウインチベルトを一度収納する。
2. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、降車スイッチを押しながらベルトをすべて引き出す。
3. リモコンを使わずに、ゆっくりとベルトを巻き取らせる。
   ▶ベルトフリー スイッチを押してベルトが引き出せるようになります。

また上記の操作を行ってもベルトを引き出すことができない場合は、装置の故障が考えられますので、Honda 販売店にご連絡ください。

■車内に固定された状態で停止したとき

車内に固定された状態で停止した場合は、Honda 販売店にご連絡ください。

»車内に固定された状態で停止したとき

⚠注意

装置が故障したときは、車いすでの乗車はしない。

車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

ウインチベルトを収納するときは、リモコンを使わずに収納してください。

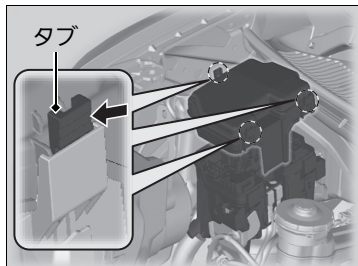
リモコンを使うと、電動ウインチシステムが、車いすが乗っていると認識し、ベルトフリー スイッチを押してもベルトが引き出せなくなります。

ベルトフリー スイッチの表示灯が点滅するのは以下の場合です。

- リモコンを使ってウインチベルトを収納したとき
- 車のバッテリーを再接続したとき
- ヒューズを交換したとき
- リモコンを使用せずに車いすを降ろしたとき

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、パワーモードをOFFモードまたはエンジンスイッチを[0]にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、2つ(アイドリングストップシステム装備車は3つ)のヒューズボックスに入っています。

■エンジンルーム内のヒューズボックス

エンジンルーム内の運転席側に付いているブレーキフルードリザーブタンクの隣にあります。タブを押して開けてください。

ヒューズの点検と交換の詳細は、N BOX +/N BOX + Custom取扱説明書をご覧ください。

»エンジンルーム内のヒューズボックス

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。

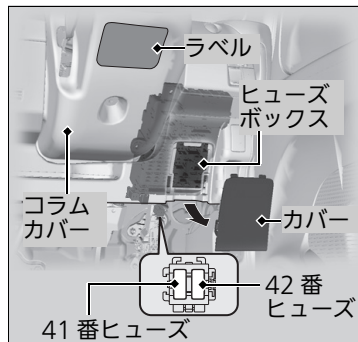
■各ヒューズの装備と容量

容量に(　)がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

	表示	装備	容量
1		バッテリー	70A
2		ウインチモーター1	40A※1 (40A)※2
		ウインチモーター2	40A※1 (40A)※2
3		EPS	40A
		VSA モーター	40A
4		F/B MAIN	60A
		IG MAIN	50A
5		左側ヘッドライト ハイビーム	10A※3, ※4
	—	—	—※5
6		右側ヘッドライト ハイビーム	10A※3, ※4
	—	—	—※5
7		左側ヘッドライト ロービーム	10A※3 15A※4
	—	—	—※5
8		右側ヘッドライト ロービーム	10A※3 15A※4
	—	—	—※5
9	—	—	—※1
		スターター	30A※2
10		ホーン・制動灯	10A
11		ABS/VSA	20A
12		非常点滅表示灯	10A
13	—	—	—※1
		フォグライト	(20A)※6
		助手席側 パワースライドドア	(30A)※7
14		バックアップ	10A
15		ウインチメイン	20A※1 (20A)※2
16		ヘッドライト ロービーム	20A※3 30A※4
		右側ヘッドライト ロービーム	15A※5
17		冷却ファン	30A
18		バッテリーセンサー	7.5A※2
		バックアップメイン	15A※1
19		MG クラッチ	7.5A
20	—	—	—※1
		ウォッシャー	10A※2
21	—	—	—※1
		ワイパー	20A※2
22		スモールライト	10A
23		ヘッドライト ハイビーム	30A※3, ※4
		左側ヘッドライト ロービーム	15A※5
24		助手席側 パワースライドドア	(30A)※7
		ヘッドライトハイビーム	7.5A※5
	—	—	—※3
25		リヤアクセサリー ソケット	20A

※1 ： エンジンスイッチ装備車
※2 ： ENGINE START/STOP スイッチ装備車
※3 ： N BOX + ハロゲンヘッドライト装備車
※4 ： N BOX + Custom
※5 ： N BOX + ディスチャージヘッドライト装備車
※6 ： フォグライト装備車
※7 ： パワースライドドア装備車

万一の場合には

次ページに続く

■室内運転席側のヒューズボックス

ハンドル右側カバーの奥にあります。
カバーを引いて開けてください。

ヒューズの点検と交換の詳細は、N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書をご覧ください。

≫室内運転席側のヒューズボックス

室内のヒューズボックス
コラムカバーの下に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

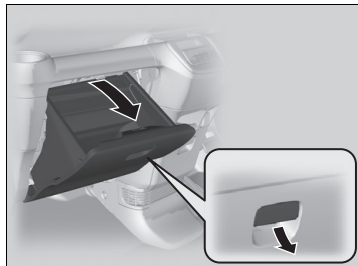
■各ヒューズの装備と容量

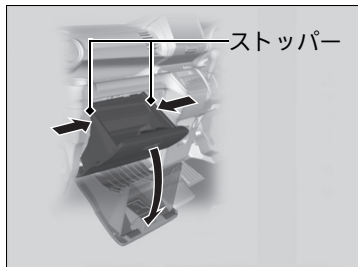
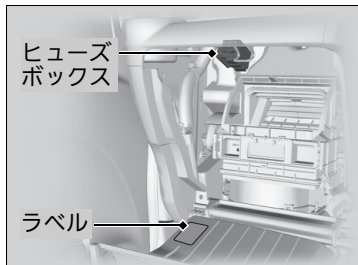
容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

表示		装備	容量
1	—	—	—※1
		DC/DC1	(30A)※2
2	—	—	—※1
		DC/DC2	(30A)※2
3		ヒーターモーター	30A
4		SRS エアバッグシステム	7.5A
5		リヤワイパー	10A
6		後退灯	7.5A
7		MICU※1 サブヒューズボックス※2	10A
8		SRS エアバッグシステム	10A
9		LAF センサー	10A
10		ヒーテッドドアミラー	10A
11	—	—	—※1
		Honda スマートキーシステム	10A※2
12		室内灯	7.5A
13		ウォッシャー	10A※1
		フロントワイパー	7.5A※2
14		フロントワイパー	20A※1
	—	—	—※2
15		イグニッション	15A
16		ABS/EPS※1 サブヒューズボックス※2	7.5A
17	RR L	助手席側リヤパワーウィンドー	15A
18	AS	助手席パワーウィンドー	15A
19		フューエルポンプ	15A
20		メーター	7.5A
21		PGM-FI(メイン)	10A
22	—	—	—※1
	R	運転席側イージードアクローザー	20A※2
23		ドアロック(ロック)	15A
24		ドライブバイワイヤ	10A
25		リヤデフロスター	20A
26		エアコン	7.5A
27		電動ドアミラー	7.5A
28		アクセサリーソケット	20A
29		アクセサリー	7.5A
30	RR R	運転席側リヤパワーウィンドー	15A
31	—	—	—
32		発電機	7.5A
33	—	—	—※1
	L	助手席側イージードアクローザー	20A※2
34		ドアロック(メイン)	30A
35		ドアロック(アンロック)	15A
36	—	—	—
37		ドアロック(アンロック)	15A
38		ドアロック(ロック)	15A
39	DR	運転席パワーウィンドー	20A
40	—	—	—※1
		START DIAG	7.5A※2
41		たるみ取りモーター/バックドアランプ	(7.5A)
42		クラッチ / ソレノイド	(10A)

※1 : エンジンスイッチ装備車
※2 : ENGINE START/STOP スイッチ装備車

万一の場合には

次ページに続く

■室内助手席側のヒューズボックス✤

1. グローブボックスを開ける。

2. グローブボックスの両端に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。
▶エアコンフィルターの上にあります。

ヒューズの点検と交換の詳細は、N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書をご覧ください。

≫室内助手席側のヒューズボックス✤

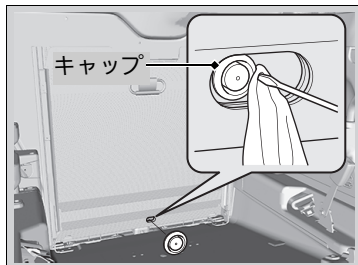
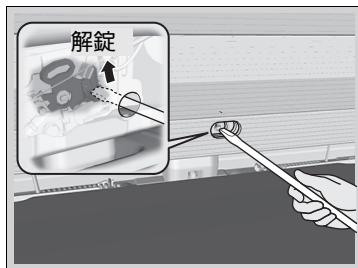
グローブボックスに貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		アクセサリー	7.5A
3		バックアップ	15A
4		電動オイルポンプ	10A
5		MICU	7.5A
6		ABS	7.5A
7		メーター	7.5A

バックドアの解錠ができないとき

万一、バックドアが解錠できなくなった場合は、応急処置として次の方法で解錠してください。

1. スロープ下部にある穴から、マイナスドライバーの先端を差し込み、バックドア内側にあるキャップを外す。
▶キャップが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

2. ジャッキハンドルバーでレバーを上に動かし、バックドアを解錠する。
3. バックドアを開ける。
➡ N BOX +/N BOX + Custom 取扱説明書

≫バックドアの解錠ができないとき

応急処置後は Honda 販売店で点検を受けてください。

仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="3">サービスデータ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">燃料</td><td rowspan="2">タンク容量</td><td>2WD 車</td><td colspan="2">35L※1
30L※2</td></tr>
<tr><td>4WD 車</td><td colspan="2">30L</td></tr>
<tr><td>バッテリー</td><td>容量 / タイプ</td><td colspan="3">32AH(5)/M-42R ※3
27AH(5)/34B17L ※4</td></tr>
<tr><td>スロープ</td><td>耐荷重</td><td colspan="3">200kg</td></tr>
<tr><td rowspan="5">乗車定員</td><td rowspan="3">リヤシート装備車</td><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車される場合</td><td>3 人
(車いすご利用の方も含む)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">車いすご利用の方が乗車されない場合</td><td>リヤシート非使用時</td><td>2 人</td></tr>
<tr><td>リヤシート使用時</td><td>4 人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リヤシート
非装備車</td><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車される場合</td><td>3 人
(車いすご利用の方も含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車されない場合</td><td>2 人</td></tr>
</table>

※1 ： エンジンスイッチ装備車
※2 ： ENGINE START/STOP スイッチ装備車
※3 ： アイドリングストップシステム装備車
※4 ： アイドリングストップシステム非装備車

次ページに続く

■最大積載時の車輌重量（車輌重量＋乗車定員＋荷物）

2WD 車：	1290kg
4WD 車：	1334kg

■最大積載量

2WD 車：	130kg（2 名乗車時）*
4WD 車：	120kg（2 名乗車時）*

＊：目安ですので、最大積載時の車輌重量を超えないでください。

車いす乗車の目安

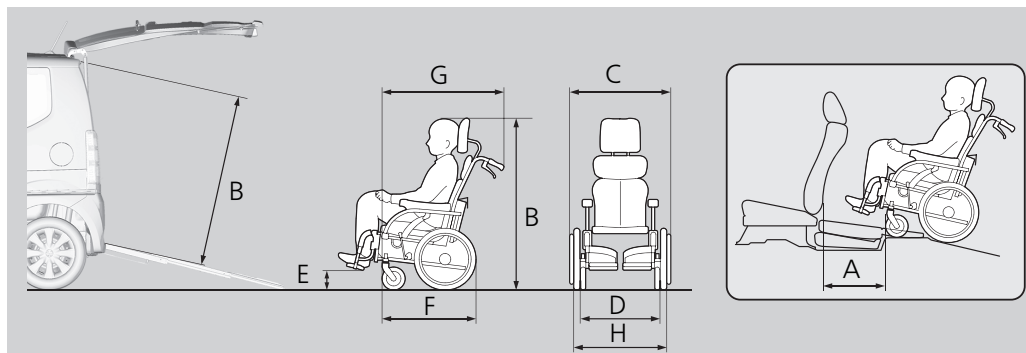
乗車可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。
なお、下記寸法を満たしている場合でも形状によっては乗車のできない車いすがあります。

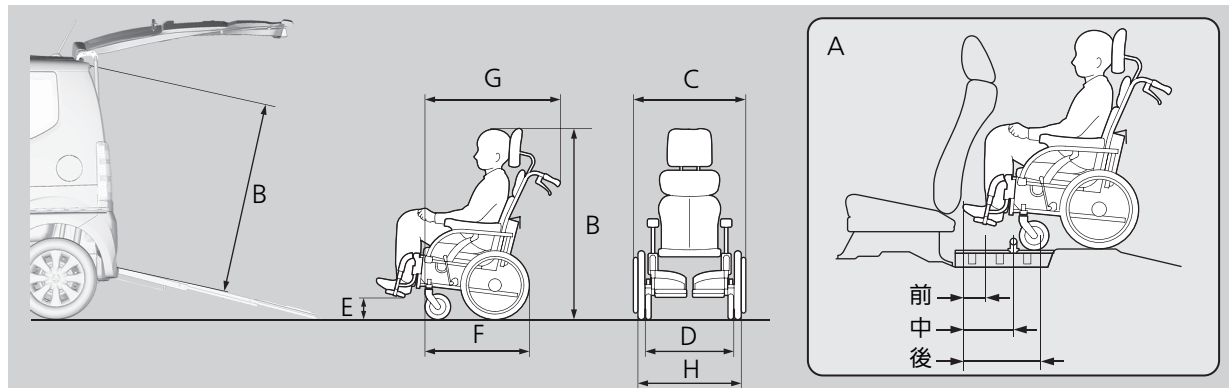
»車いす乗車の目安

車いすはヘッドレスト付をおすすめします。
思わぬ事故に備え、ヘッドレスト付の車いすをおすすめします。

リヤシート装備車

車いすのタイプ		自走式、介護式	
フロアースペーサー		有	無
A:	前輪の前端〜シートバック(フロントシートスライド後端時)	450mm 以下	
	前輪の前端〜シートバック(フロントシートスライド前端時)	690mm 以下	
B:	全高	1290mm 以下	
C:	全幅	660mm 以下	
D:	前輪幅	250mm 〜 500mm	
E:	フットプレート高さ	100mm 以上	130mm 以上
F:	前輪の前端〜後輪の後端	805mm 以下	
G:	前輪の前端〜ハンドル後端	780mm 以下	810mm 以下
H:	後輪幅	640mm 以下	

次ページに続く

リヤシート非装備車

車いすのタイプ		自走式、介護式		
ストッパーバーの固定位置		前	中	後
A:	前輪の前端〜シートバック(フロントシートスライド後端時)	135mm 以下	248mm 以下	361mm 以下
	前輪の前端〜シートバック(フロントシートスライド前端時)	375mm 以下	488mm 以下	601mm 以下
B:	全高	1290mm 以下		
C:	全幅	660mm 以下		
D:	前輪幅	250mm 〜 500mm		
E:	フットプレート高さ	100mm 以上		
F:	前輪の前端〜後輪の後端	1120mm 以下	1007mm 以下	894mm 以下
G:	前輪の前端〜ハンドル後端	1095mm 以下	982mm 以下	869mm 以下
H:	後輪幅	640mm 以下		

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まずHonda販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新のHonda販売店を検索することが可能です。
Hondaホームページ　http://www.honda.co.jp/
(Hondaホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用Hondaホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/

※:QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010 (イイフレアイオ)

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8ー1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項:車両型式、車台番号、エンジン型式、車両番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名